

【第1回 佐賀県災害警戒対策本部会議】 8月29日

佐賀地方气象台／台風10号は、8時に薩摩川内市に上陸。上陸により勢力が弱まり、9時時点で最大中心風速が40m、960hPaの強い台風になった。土砂災害や低い土地への浸水、河川の洪水や氾濫、暴風、うねりを伴った高潮に警戒をお願いする。

九州の南東斜面で降水量が多くなっている。現在、県内ではあまり強い雨雲はかかっていないが、台風の北上とともに強い雨域になる可能性がある。

6時の予報では、台風は北上し、島原半島で転向点を迎え、大分県へ抜ける予想。

現在、暴風警報は全域、波浪警報を南部に発表。雨量は、30日の6時までに300mm、31日の6時までに200mm。南部の海上では最大風速30m、北部で25m。波は、北部海上でうねりを伴い6mと予想。

明日の9時で暴風警戒域がなくなる見込み。

防災監／最接近は、29日21時～24時。風はさらに強くなり、30日午前中までは強風が吹く。雨は29日夕方から、さらに降る可能性が高いということ？

佐賀地方气象台／そうです。台風が予報円の中心を通った場合、台風を取り巻く雲がかかり、激しく降る可能性は高くなる。

事務局／9時現在、人的・物的被害はない。

- ・ 停電は、県内全域で230戸。武雄、伊万里、唐津、玄海、佐賀各エリアの合計。
- ・ 市町の警戒体制は、3次体制が神崎市。2次体制が伊万里市。1次体制が18市町。
- ・ 避難指示の発出は、鹿島市と大町町の1万3,633世帯、3万3,451人が対象。
- ・ 高齢者等避難は、15市町で21万263世帯、49万7,549人。先ほど、佐賀市も高齢者等避難を発表。
- ・ 避難所開設は、18市町134か所。
- ・ 避難者数は、367世帯508名。
- ・ 暴風警報は、県内全20市町に発表された。
- ・ 満潮時刻は、大浦港が4時27分と18時40分。唐津港は5時40分と19時56分。4時12分に災害情報連絡室を設置、8時に2次体制の災害警戒対策本部に移行した。

九州電力／9時時点の停電は、県内230戸。内訳は、嬉野市、太良町で140戸、唐津市肥前町で70戸、佐賀市諸富町と多久市西多久町で各20戸。現時点で420戸に増えた。停電情報は、九州電力送配電株式会社の停電情報アプリで随時お知らせする。詳細は、そちらで確認してほしい。

停電の原因は、倒木や断線。断線は、感電の怖れがあるので注意してほしい。九州管内では、25万戸強の停電が発生。鹿児島県が20万戸強、宮崎県、長崎県が各1万4,000戸強。台風の進路に合わせて停電が拡大している。

県土整備部／管理地に被害は発生していない。

- ・河川砂防関係では、嬉野地区の雨量が118mm、中木庭ダムで75mm。河川の水位上昇はない。ダムの洪水調整もしていない。
- ・8時10分現在、県内の高速道路で通行止めはない。
- ・8時30分から、有明海沿岸道路の諸富インターー三池港間は、強風のため全面通行止め。福富ー嘉瀬南間は9時30分から全面通行止め。
- ・唐津地区の県道虹ノ松原線、鏡山公園線は、風のため全面通行止め。
- ・吉野ヶ里公園と森林公園は、風のため臨時閉園。

農林水産部／現在、被害発生はない。

- ・26日、県農業技術防除センターが、農作物被害対策情報として、関係者に「水稻の深水管理」や「収穫間際の果実等の早期収穫」を呼びかけた。
- ・27日、クリークの事前放流を市町や土地改良区に連絡し、各部署の判断に基づいて対応してもらった。大雨に備えた事前の水ポケットの確保のため。
- ・過去に被害にあった杵藤管内のため池は、今夏の降雨不足で、平均貯水率が66%と平年に比べ低い。
- ・28日、関係市町に対し、農業用機械の早期の避難を呼びかけた。
- ・28日、大町の下瀉排水機場の増設ポンプの運転を開始する体制を整えた。
- ・29日10時から、多良岳オレンジ街道は鹿島市側の全面通行止め。
- ・海岸保全施設の安全管理として、農林事務所に台風後に備えた管理の徹底を通知。

地域交流部／所管する施設の被害報告はない。

- ・交通機関の状況は、佐賀空港を発着する国内線、国際線が本日はすべて欠航。
- ・鉄道は、普通列車の一部の区間を除き、始発から終日運転見合わせ。
- ・バスは、午後からすべて運行見合わせ。
- ・離島航路は、終日欠航。
- ・県有施設の開館状況は、博物館、美術館が本日から閉館。SAGA プラザなどのスポーツ施設は、午後から閉館予定。

ホームページやフェイスブック、LINEなどで、外国人の方向けの注意の呼びかけや避難指示の内容を9言語で情報を発信している。

健康福祉部／関連施設の被害報告はない。また、断水の情報もない。

29日、30日を休館する施設は、佐賀県聴覚障害者サポートセンター、県動物管理センター、県犬猫譲渡センター「いっしょけんね」、難病相談支援センター、県ひとり親家庭サポートセンター、男女共同参画センター、県立生涯学習センター「アバンセ」。

停電に備え、在宅で人工呼吸器を利用する人、医療的ケア児、難病の方に充電等について声掛けを行った。停電が長引く情報が入れば、九電に情報共有をしたい。

教育委員会／29日8時35分現在の公立高校の状況。

臨時休業

- ・県立高校全日制が20校、高等学校の定時制6校、中学校2校、特別支援学校3校。
- ・市町立学校の小学校140校、中学校72校、義務教育学校6校。

総務部／関係施設での被害報告はない。

- ・県内私立の中高校の臨時休業は、9校全てで臨時休校。
- ・公文書館は、29日開館、30日臨時休館。

政策部／28日中にコールセンターの設置準備を完了。現在はスタンバイ状態。災害対策本部への移行と同時に運営を開始する。当面は、24時間体制で運営する。

警察本部／今朝になって倒木などの110番通報が数件。救助要請等はない。

停電が増えれば、信号機の減灯が予想される。運転する場合、視界不良、信号機の減灯も考慮し安全運転をお願いする。

佐賀広域消防局／9時19分までに、家屋の被害が3件、倒木に関するものが1件。

現在の各消防本部の配備態勢は、通常配備。午後から増強する。

自衛隊／指揮所を立ち上げ、29日午前中までに県内の所要の市町にLOを派遣。情報収集体制を取っている。

九州地方整備局／佐賀県に限らず、九州各県からの支援要請に、迅速に対応できるよう準備を進めている。

防災監／河川の水位は？

県土整備部／現在、水位の上昇は見られない。

防災監／すでに、県内全域が強風域に入っている。台風は、今夜21時から24時に、佐

賀県に最接近する見込み。速度がゆっくりで、影響が長時間に及ぶ。大雨や強風に警戒を強めたい。

県民の皆さんへは、できる限り外出を控えてほしい。避難所等へ避難の際は、風雨に注意し移動をお願いする。また、屋根に上ったり、海や川に近づかないように。今後の台風の状況を常に確認し、命を守る行動を最優先してほしい。

対策本部の皆さんは、明日にかけ日をまたいでの警戒態勢になる。県民の命を守ることを最優先に、先手の対応をお願いする。

関係職員の皆さんも自信の安全を守りつつ、情報収集や対応に当たってほしい。